

# 株主のみなさまへ

第61期 第2四半期  
営業のご報告

2021年4月1日～2021年9月30日



コロナ禍から市場回復の兆しが見え始めました。  
業績の改善とともに、未来への取り組みも強化します。

代表取締役社長  
島 三博

**Q<sub>1</sub>** 上半期(2022年3月期)の業績について説明してください。

**A<sub>1</sub>** コロナ禍の影響を受けつつも、中国や欧州市場での設備投資が活発となりました。

当期(2022年3月期)上半期の世界経済は、前期に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、中国や米国経済の回復、各国におけるワクチンの普及などにより全体として回復の兆しが見え始めました。一方で、足元ではコロナ変異株の影響によるサプライチェーンの乱れにおける生産停滞など、世界経済は依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社グループが製品を供給するアパレル・ファッション業界においては、地域差はあるもののアパレル消費や生産に対する意識が徐々に戻りつつあります。特にコロナ禍からいち早く脱却した中国やワクチン接種の進んだ欧州では、経済活動とともに消費も回復しています。

このような状況の中、当社グループは6月に上海

で開催された展示会「ITMA ASIA+CITME」にオンラインとリアルが融合した新たな形式で出展するなど、サステナブルなモノづくりを実現するための製品、サービスやソリューションの提案活動に注力しました。

この結果、上半期の連結売上高は158億14百万円(前年同四半期比56.2%増)と、今年5月に発表した予想数値を約28億円上回る増収となりました。利益面についても、物流費や原材料費の高騰の影響はあったものの、増収効果と工場操業度の改善により売上総利益率が回復したことや、販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより、営業損失は15億58百万円(前年同四半期は営業損失41億83百万円)となりました。

また、営業外において貸倒引当金戻入益の計上などにより、経常損失は8億44百万円(前年同四半期は経常損失31億35百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は10億68百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失32億8百万円)と、いずれも前年同期に比べて大きく改善しました。

## Q<sub>2</sub>

### 事業別の状況はいかがでしょうか？

## A<sub>2</sub>

### 各事業とも、前期比で売上が回復しました。

主力事業である横編機事業の売上高は前年同期比68%増となり、中国市場、欧州市場を中心に前期から大きく伸ばすことができました。

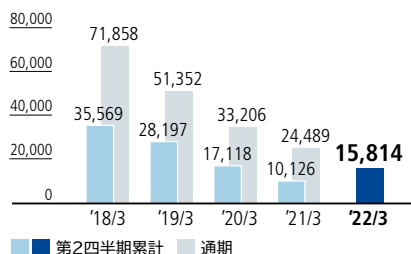
経済活動・消費活動が活発化してきている中国では、輸出向け商品のOEM生産から国内市場に向けた「高付加価値商品のモノづくり」への転換が着実に進み、同時に人件費の上昇と人手不足から省人化を進める動きが強まっていることから、これらのニーズを満たすホールガーメント®横編機の導入が伸びました。

欧州市場においてもコロナ鎮静化に伴い、顧客の設備投資が活発化しました。特に高付加価値商品の開発を得意とするイタリアでは、ホールガーメント横編機やデザイン性の高い成型編機を中心に販売が増加しました。これはコロナによる海外渡航制限を背景に、インターネットでの高級衣料品の販売が拡大しているという事情もあります。

デザインシステム関連事業も、デザインシステム

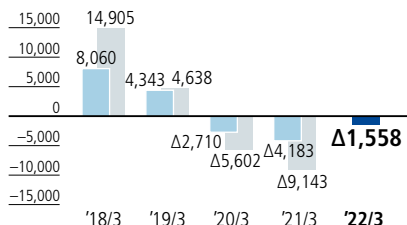
#### 売上高

(百万円)



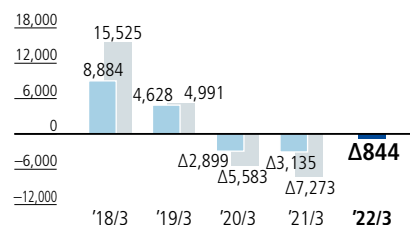
#### 営業利益・損失(△)

(百万円)



#### 経常利益・損失(△)

(百万円)



「SDS®-ONE APEX4」は横編機事業の売上増加に伴い、海外市場を中心に販売台数が増加しました。また今期から本格的にスタートしたデザインソフトウェアのサブスクリプションサービス「APEXFiz®」も、欧米や国内のアパレルブランドを中心にライセンス契約数を増やしました。自動裁断機「P-CAM®」も国内を中心に需要が回復しました。

手袋靴下編機事業では、国内および海外大手メーカーの設備投資が順調に伸びたことで、販売が大きく増加しました。

### Q3 下半期以降の展望をお聞かせください。

A3 不透明な要因がありますが、多様なニーズに対応した提案を強化して取り組みます。

下半期以降もホールガーメント横編機を中核として、各国・地域の状況に応じた提案活動を全世界で展開していきます。6月の「ITMA ASIA+CITME」展で発表したホールガーメント横編機の新機種は、生産性の向上に加え、デザインの幅が格段に広がり、ホールガーメントの可能性を拡大する製品です。ユーザーからは非常に好評で、すでに各地から

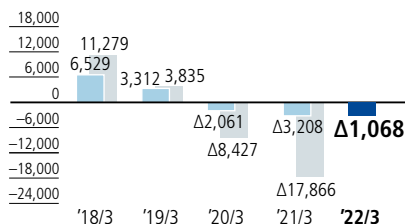
問い合わせをいただいています。下半期は、この製品を戦略商品として年間で最大の需要期となる第4四半期での拡販に注力していく方針です。

デザインシステム関連事業でも、この7月に「APEXFiz」の追加ラインアップとして自動裁断機「P-CAM」に対応したアパレルCADソフトウェア「APEXFiz PGM」を発売しており、ウイズコロナの時代を見据えて多様なニーズに対応した提案を拡大していきます。

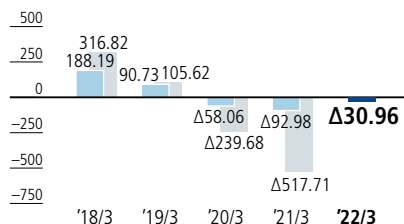
一方で、コロナ禍を背景とした海外物流網の混乱に加え、足元では半導体の需給バランスの乱れを契機に電子部品など、さまざまな部品・原材料がひっ迫しています。これには、東南アジアでのコロナ変異株の感染拡大による工場の操業停止や、環境政策を背景とする中国での電力不足などが影響しています。そのため、当社でも安定的な生産計画が立てられず、納期が確約できないことから受注が決まらないという悩ましい状況が続いています。

上記のような諸要因により、現状では下半期の見通しが不透明であるため、通期業績については5月に発表した数字をひとまず据え置き、売上高280億円、営業損失70億円、経常損失63億円、親会社株主に帰属する当期純損失64億

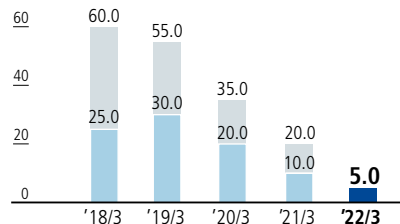
親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益・損失(△) (百万円)



1株当たり四半期(当期)  
純利益・損失(△) (円)



1株当たり配当金 (円)



円とさせていただきます。

#### Q<sub>4</sub> 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A<sub>4</sub> サステナブルなモノづくりのニーズを捉え、アパレル・ファッション業界の転換を力強く提案していきます。

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つに位置付け、事業の持続的発展を通じて、安定した配当を長期にわたって継続することを基本方針としています。上半期については前期に続いての赤字計上となりましたが、安定配当の基本方針を鑑み、中間配当金は一株当たり5円で実施させていただきました。期末配当金についても、一株当たり5円で実施させていただき予定です。

今回のコロナ・パンデミックを機に、アパレル・ファッション業界では大量生産・大量販売を基本とした旧来のビジネスモデルからの脱却、売れ残りや廃棄ロスを出さない、サステナビリティを意識したモノづくりへの転換が一層進むと考えています。実際、ビジネスモデル転換に向けた動きが世界



各地で起こっています。こうした動きに応え、機器・システム単体の提案ではなく、周辺サービスやソフトウェアも融合したトータルなソリューションによってお客様の抱える課題を根本から解決し、業界の変革に貢献していくことで、当社の新たな成長局面が必ず広がっていくと私は信じています。

国内・海外ともコロナ禍の完全な収束時期ははまだ見通せない状況ではありますが、私たちは今後も経営理念「Ever Onward-限りなき前進」のもと、全社一丸となって早期の黒字転換と新たな成長を目指してまいります。株主の皆様には、引き続き温かいご理解、ご支援をお願い申し上げます。

### 新たに「サステナビリティ推進室」を設置

社会的責任ある企業として、サステナビリティの視点を踏まえた経営を促進するため、2021年7月、社長直轄の部署として「サステナビリティ推進室」を設置しました。

まずはサステナビリティに対する社内の意識改革をおこなうとともに、環境や社会における持続可能性について会社横断的に取り組み、社内外への発信をおこなってまいります。



# ソリューションビジネスへの業態変換を目指します

2021年5月に中期経営計画「Ever Onward 2023」を公表しました。中期経営計画を達成するための4つの重点施策として【①ホールガーメント事業の最強化】【②ソリューションビジネスへの業態変換】【③独自性を持った事業多角化の推進】【④社会の変化に対応した経営基盤の再構築】を策定し、取り組んでいます。

今回は、その中から【ソリューションビジネスへの業態変換】についてご紹介します。

## 外部環境の変化

### 消費者

- 人口増加等によるGDPの拡大
- 消費行動の変化(コト消費、SDGsへの関心、SNSの普及)

### サプライヤー

- スマート工場やDX化の機運の高まり
- 成型機への投資が一巡、無縫製機投資へ
- 横編機の低価格化への要望

### リテラー

- コロナ禍を背景にしたEC化の加速
- SDGs対応への関心の高まり

### 競合他社

- 価格競争力の向上と製品ラインアップの充実
- 業界再編の動き

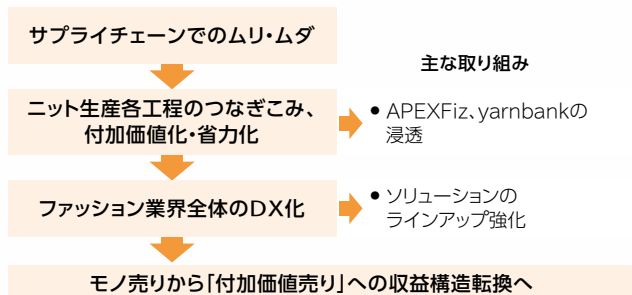
アパレル・ファッション業界では、環境意識の高まりを背景に、サステナブルなモノづくりへの転換が加速しており、業界を取り巻く環境は日々変化しています。

これまで当社では、独自技術のホールガーメント®やデザインシステムを軸として、効率的なモノづくりを提案してきました。一方で、アパレル製品が消費者に届くまで、素材作りから企画、生産、販売における各工程には、さまざまな課題が存在することも事実です。

それらの課題を解決するため、今後当社は多種多様なソリューションを提供し、さらにそのラインアップを強化することで、サプライチェーンにおけるムリ・ムダやアパレル・ファッション業界全体のDX化などの課題を解決し、お客様とともに中長期的な成長を続けてまいります。

## ソリューションビジネスへの業態変換

### ファッション業界全体のサプライチェーン改革へ



ソリューションを幅広く効率的に訴求するための販促手段の一つとして「ウェビナー」などがあります。(右ページ参照)

## ウェビナーを通じ、幅広くソリューションを訴求

### 「ファッション業界のデジタル化」を中心に2,000人以上が参加

コロナ禍により移動が厳しく制限された2020年4月から、当社では新たな販促活動としてウェビナー（Webセミナー）を積極的に活用しています。セミナーのテーマとして「ファッション業界のデジタル化」を中心に、開始から1年半で日・英・中など多言語によるウェビナーを40回以上開催し、約80カ国から2,000人以上が参加されています。



### きめ細かなフォローにより新たな顧客を発掘

ウェビナーの開催を、SNS、イベント紹介サイト、メールマガジンなど多様な媒体で告知し、終了後には参加者アンケートの実施や、ダイジェスト版資料の無償提供、録画映像の配信など、きめ細かなフォローをおこなっています。製品やサービスに興味を示した顧客については、営業部門と情報を共有して具体的な提案活動につなげています。

### ツールを駆使し、顧客ニーズを把握

ウェビナー参加者からは、見積りや個別デモの希望などがあり、具体的な商談につながっています。それ以外の参加者にも、メールマガジン送付などの継続的な情報提供を通して関係構築に努めています。これらの情報やデータは、営業部門の顧客管理システムと連携させるなどデジタル化の推進により、高度な営業展開を実現していきます。

業界サイトの広告  
SNSでの発信  
メールマガジン

ウェビナーによる  
販促活動

フォローアップ  
営業との連携

## リアル展示会が各地で再開

2年に一度の中国最大規模の展示会「ITMA ASIA+CITME」は、昨年10月の開催予定が延期され、今年6月、上海で開催されました。

他にも「PITTI FILATI 89」（イタリア）、「SPIN EXPO 2022 SS」（上海）など、リアル展示会が徐々に再開しており、今後は国内展示会にも出展予定です。実際に当社の製品やソリューションをご覧いただくことで、当社製品の優位性を訴求していきます。



「ITMA ASIA+CITME」（上海）

## (株)ファーストリテイリングとの合併事業で モノづくりのイノベーションを実現

WHOLEGARMENT®


  
3D KNIT

(株)イノベーションファクトリーは、ホールガーメント®を核としたニット生産モデルの構築、および高品質で付加価値の高いニット製品の生産を目的に、(株)島精機製作所と(株)ファーストリテイリングの合併事業として2016年に和歌山で設立されました。2020年12月に両社の出資比率を見直し、(株)ファーストリテイリング初の自社工場として、2021年4月から東京都江東区東雲で新たなスタートを切りました。

### (株)イノベーションファクトリーが東京・東雲で本格稼働



江東区東雲にある(株)イノベーションファクトリー内

(株)イノベーションファクトリーの新工場は、(株)ファーストリテイリング有明本部から車で10分ほどの距離にあり、商品企画と生産の連携を密に取れることに加え、当社のホールガーメント横編機によって、モノづくりのイノベーションを実現するためのマザー工場としての重要な役割を担っています。

工場内には、多くのホールガーメント横編機が並んでおり、3Dニットが生み出されています。

今後も(株)イノベーションファクトリーを通じて、当社のホールガーメント事業の拡大と、モノづくりのイノベーションを実現させていきます。

### ユニクロ銀座店にてホールガーメント横編機を展示

2021年9月、ユニクロのグローバル旗艦店である銀座店がリニューアルオープンしました。店内では、各フロアで商品の機能性の秘密やサステナブルなモノづくりの仕組みが紹介されています。

その4階フロアでは、アパレル業界のサステナブルな取り組みの一つとして、当社のホールガーメント横編機が3Dニットを編み上げる様子を見ることができます。当社の技術が、ユニクロ店舗を通して、消費者に紹介されています。

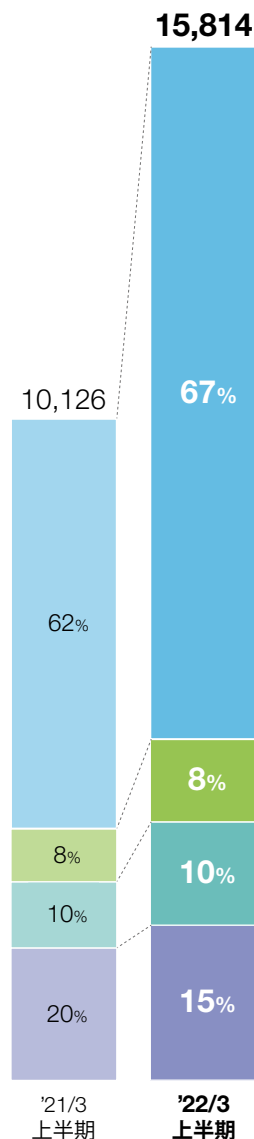


ユニクロ銀座店に設置されたホールガーメント横編機



事業別売上高構成比

(百万円)



 横編機事業

売上高  
**104.7**億円 [前年同期比 67.9% ↗]  
営業利益  
**8.6**億円 [前年同期比 -]



- 中国でホールガーメント®横編機の導入が伸長
- イタリアでもホールガーメント横編機などを中心に横編機の需要が増加

 デザインシステム  
関連事業

売上高  
**13.1**億円 [前年同期比 56.3% ↗]  
営業利益  
**3.6**億円 [前年同期比 -]



- デザインシステムは横編機の売上増加に伴い、増加。APEXFiz®もライセンス契約数が伸長
- P-CAM®は、国内を中心に需要が回復

 手袋靴下編機  
事業

売上高  
**16.0**億円 [前年同期比 61.6% ↗]  
営業利益  
**0.5**億円 [前年同期比 -]



- 日本、海外の大手ユーザーの設備投資が拡大

 その他事業

売上高  
**24.2**億円 [前年同期比 17.8% ↗]  
営業利益  
**2.2**億円 [前年同期比 -]



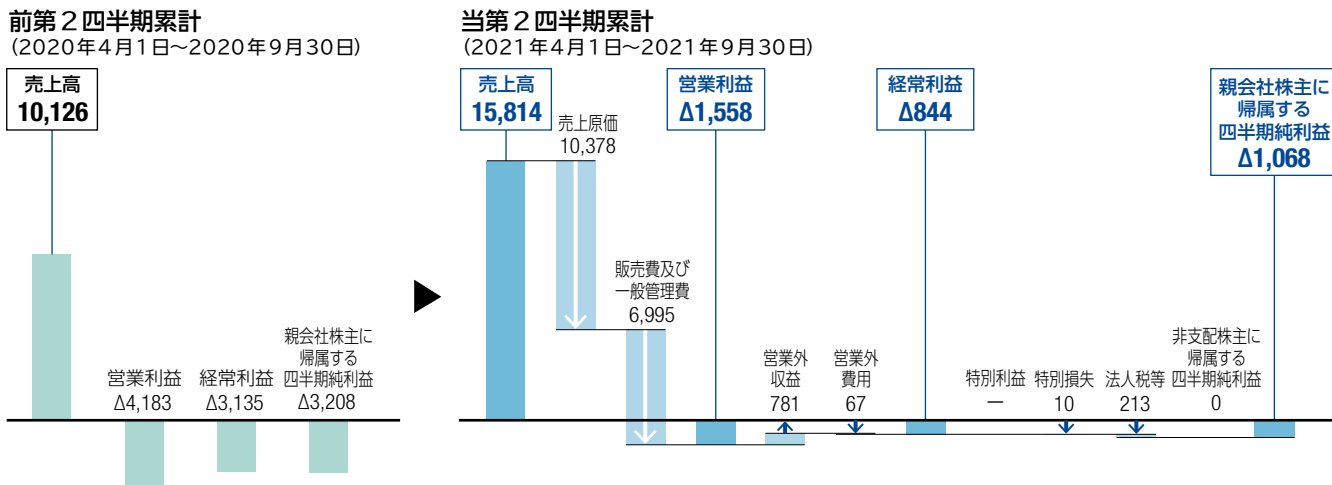
- 横編機の売上増加に伴い、部品販売などが回復

詳細な財務諸表は、下記 URL もしくは  
右の2次元バーコードからご覧いただけます。  
<https://www.shimaseiki.co.jp/irj/library/list.php>



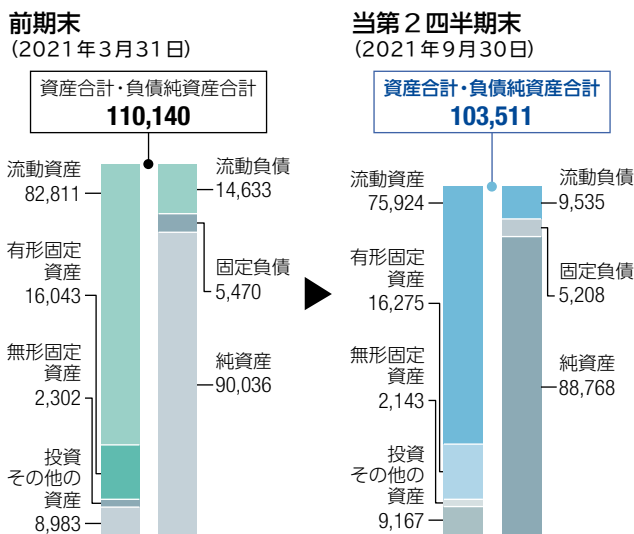
## ① 損益計算書の概要

※△は損失を示しております。(百万円)



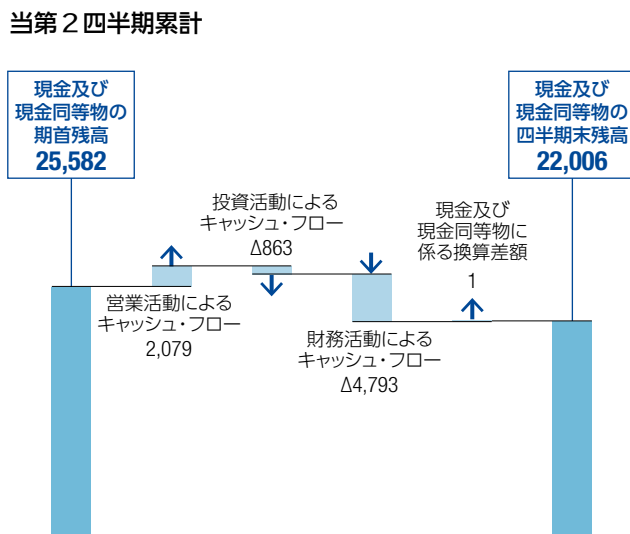
## ② 貸借対照表の概要

(百万円)



## ③ キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



## 会社概要・株式概要

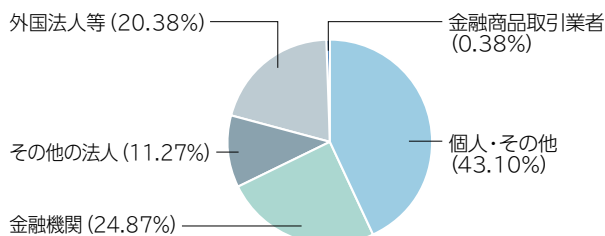
### 会社概要 (2021年9月30日現在)

商号 株式会社島精機製作所  
 (英文表記) SHIMA SEIKI MFG., LTD.  
 本社 和歌山県和歌山市坂田85番地  
 創立 1962年2月4日  
 資本金 148億5,980万円  
 従業員数 1,414名(連結1,898名)  
 事業内容 コンピュータ横編機  
 デザインシステム  
 自動裁断機  
 手袋靴下編機 などの開発、製造、販売

### 役員 (2021年9月30日現在)

地位	氏名	担当及び重要な兼職
代表取締役会長	島 正博	
代表取締役社長	島 三博	執行役員営業本部長兼 トータルデザインセンター担当
取締役	梅田 郁人	執行役員島精機(香港)有限公司 CEO
取締役	南木 隆	執行役員経理財務部長兼管理部、 物流部担当
取締役	大谷 明広	執行役員生産本部長兼開発本部担当
取締役	北川 尚作	執行役員経営企画部長兼総務人事部、 情報システム部担当
社外取締役	一柳 良雄	株式会社一柳アソシエイツ 代表取締役&CEO / キャスター
社外取締役	残間 里江子	株式会社キャンディッドプロデュース 代表取締役社長/プロデューサー
取締役 (常勤監査等委員)	戸津井 久仁	
社外取締役 (監査等委員)	新川 大祐	北斗税理士法人 代表社員
社外取締役 (監査等委員)	野村 祥子	堂島法律事務所 パートナー弁護士

### 所有者別分布



### 株式の状況 (2021年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数……………142,000,000株  
 ②発行済株式の総数……………35,800,000株  
 ③株主数……………14,880名  
 ④大株主 (千株未満切り捨て)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,357	9.73
和島興産株式会社	3,001	8.70
株式会社紀陽銀行	1,387	4.02
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,259	3.65
島 正 博	1,070	3.10
島 三 博	1,061	3.08
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	889	2.58
株式会社三菱UFJ銀行	880	2.55
合同会社和光	780	2.26
梅田 千景	632	1.83

- (注) 1. 当社は、自己株式1,285千株を保有しています。  
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。



## 当社にとって初めての『総合報告書 2021』を発行しました。

2次元バーコード、  
下記URLから  
ご覧いただけます。



[https://www.shimaseiki.co.jp/irj/img\\_sys/irLib/360/360.pdf](https://www.shimaseiki.co.jp/irj/img_sys/irLib/360/360.pdf)

## 株式に関する『マイナンバーお届出』のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。お届出をされていない株主様におかれましては、お取引の証券会社等へお届出ください。

- 証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様  
下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部

TEL : 0120-094-777

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	基準日	3月31日
	開催日	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
公告方法	電子公告	
	下記当社ホームページに掲載 ( <a href="https://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html">https://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載	

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社島精機製作所  
〒641-8511 和歌山市坂田85番地  
TEL(073)471-0511(代表)  
<https://www.shimaseiki.co.jp/>



ホールガーメントおよびWHOLEGARMENT等は株式会社島精機製作所の登録商標です。  
この冊子に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。



ユニバーサルデザイン  
(UD)の考えに基づいた  
見やすいデザインの文字を  
採用しています。



環境や健康に影響のある  
揮発性の有機溶剤を  
含まないインクを  
使用しています。



この報告書は環境に  
やさしいベジタブルオイル  
インクを使用しています。



きちんと管理された認証林からの  
木材や環境・社会的なリスクが低いと  
された原材料等から作られています。



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

プラスチックなど、  
紙のリサイクルを阻害する  
材料を使用していません。